

# 希望あふれる 三和町を

いのち・暮らし・地域を応援する市政へ

## すぐやる5つのプランを発表

コロナ  
対策

コロナ対策 感染防止、医療体制確保。家賃や水光熱費、リース料など固定費補助

子育て  
応援

子どもの医療費を中学校卒業まで1医療機関1ヶ月200円に、さらに拡充へ。国保料の引き下げ、18歳以下の均等割廃止

高齢者  
応援

敬老会補助削減を元に戻す。高齢者介護用品支給事業を課税世帯に拡充

地域経済  
応援

農林業振興、狩猟免許取得費全額補助。水稻作付交付金5000円/10a創設

住民自治  
応援

3町交流拠点施設は行政財産として売却や貸付けは行わない地域づくりへの応援。若者移住定住促進対策として1人年12万円の家賃補助

さらに

市民病院の拡充。災害対策の強化

水道の民営化は行いません。給食費の段階的無償化など「子育てするなら福知山へ」の実現に全力

# 今度こそ 本気で変える！

おくいさんは、削減と切りすでの市政を変え、暮らし丸ごと応援、地域振興の市政に本気でかえます。

おくい正美  
オフィシャルサイト  
政策や活動日程を  
ご覧いただけます  
<https://datanet.rdy.jp/okui/>



E-mail okui@datanet.rdy.jp



# おくい

# 正美 が決意

市民が主人公の民主市政をつくる会

20年5月26日号 発行 市民が主人公の民主市政をつくる会  
市民が主人公の民主市政をつくる会は上記の見解を発表しました

略歴 / 1954年三俣生まれ。上六人部小学校、六人部中学校、府立水産高校卒。京都生活協同組合中丹支部等で勤務。現在 / 福知山地方労働組合協議会議長、京都総評副議長

こんなはずでなかった

# 三和荘と関連運動施設

## 現市政が検討 民間業者に貸付け



# 地域交流の場がなくなり、ますます住み続けられない町に

合併から14年、町がなくなり、学校・保育所が1カ所になり、町の衰退が進みました。追い打ちをかけるように今度は三和荘と関連運動施設の民間への貸付けが検討されています。今こそ、「住み続けられる町を」の声をあげ、市政を変えるときです。

## 地域で渦巻く不安と憤り

## 支所の職員も大幅削減

現在の三和荘は2005年に地域交流の拠点施設として建設されました。1973年完成の旧三和荘から47年、地域行事やイベント、スポーツなど三和町の団体や個人が利用・活用してきた地域の誇りです。

合併の時32人だった支所の職員は、今では9人になりました。

この施設を民間に貸付ける計画が浮上し、みなさんから不安や憤りがうずまいています。地域の交流拠点施設を守るため、「市は公共性を確保する運営を引き続き行え」と怒りの声があがっています。

## 市民に負担増、楽しみも奪う

「事業棚卸し」で敬老会や高校生のバス通学費の補助をカット。三和ふれあいフェスティバルへの100万円の補助金も半分に。



「みわを元気に」第16、28号より

前・現市政12年で三和町の衰退がさらに進みました。くらし・福祉・地域を切りすてる市政を変え、くらし丸ごと応援、地域振興の市政をつくる、おくい正美さんに期待が高まっています。

# 地域おこしに情熱

おくい正美は、福知山地方労働組合協議会議長として20年間、暮らし・教育・地域経済など市民の願いを市政に届け続けてきました。「困ったらおくいさん」と解雇から年金、学費まで230件をこえる相談がよせられ親身に対応、トコトン寄り添ってきました。上六人部に生まれ育ち、「やっこさん」まつりを復活させるなど地域おこしに情熱をかたむけています。



# おくい正美

に期待  
高まる